

平成29年度 第9回高田区地域協議会 次 第

日時：平成29年11月 1日（水）
午後6時30分～

会場：高田公園オーレンプラザ 会議室

1 開会

2 議題等の確認

3 報告

(1) 雁木整備事業補助金制度の改善について（回答）

4 議題

(1) 自主的審議事項 上越地域医療センター病院の改築について

5 事務連絡

6 閉会

■今後の予定

11月20日（月）地域協議会（高田公園オーレンプラザ）

12月18日（月）地域協議会（高田公園オーレンプラザ）

1月15日（月）地域協議会（高田公園オーレンプラザ）

高田区地域協議会

会長 西山 要耕 様

上越市長 村山 秀幸

(自治・市民環境部文化振興課)



雁木整備事業補助金制度の改善について (回答)

平成29年8月22日付けで提出のあった意見書について、下記のとおり回答します。

記

1 多くの雁木を保存できるよう補助金交付要件を緩和することについて

雁木は、互助の精神に基づき江戸時代から現代まで受け継がれてきたものであります。連たんする雁木は、私有地を共同で出し合って連続した公共の歩行空間を供出する雪国の生活文化であり、また、本市特有の魅力ある街並み景観を創り出しております。

市では、雁木の保存は地域の皆さんによって受け継がれてきた、まさに互助の精神の保存であるとの考えから、雁木整備事業補助金制度は、「地域の皆さんが自ら話し合い、景観に配慮した地域の雁木の保存と安全快適な歩行空間としての雁木の活用及び雁木を活かしたまちづくりを行うため、そのルールを地域協定として定めた地域」を雁木の保存・活用地域として指定し、地域協定に基づく雁木の整備に対し補助しているものであります。

このため、地域協定を結んだ地域における雁木の整備については、個人の所有物であっても補助率を2分の1、補助金の限度額も1件当たり40万円とするなど、多額の支援を行っているところでありますし、固定資産税の減免措置も行っているものであります。

また、地域協定のない地域における個々の雁木につきましては、市の住宅リフォーム促進事業補助制度をご利用いただけますし、現に、住宅リフォーム制度を利用し雁木を整備されている実績も多くございますので、雁木整備事業補助金制度について、地域協定を結んでいない地区の個人が受けられるように変更することは考えておりません。

なお、これまで原則として全員の同意による地域協定の締結をお願いしておりましたが、制度創設当初に比べ、不在地主や所有者が分からない建物が増加してきている状況もありますので、全員の同意を必要とするとの要件の緩和について検討してまいりたいと考えております。



2 交付申請書類の提出期間を定めないことについて

本補助金の申請につきましては、申請受付の前年度に、雁木の保存・活用地域として指定した地域の皆さんを対象として、町内会を通じて翌年度における制度利用の意向を伺い必要な予算措置を講じた上で、できるだけ早期に整備着手ができるよう、毎年度の当初に指定地域の皆さんに制度の活用と申請受付について案内し、4月中旬から5月上旬にかけて申請を受け付けております。

なお、当初の申請期間内での応募によって、予算額に達しなかった場合には、再度周知したうえで、随時申請を受け付けております。

案

平成29年11月 日

上越市長 様

高田区地域協議会

会長 西山 要耕

上越地域医療センター病院の改築について（意見書）

上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、このことについて自主的に審議した結果、上越地域医療センター病院は現在地において改築し、引き続き地域住民とともに歩むよう提案します。

記

上越地域医療センター病院は、明治41年、旧陸軍第13師団が高田に駐屯すると同時に衛戍病院として創設され、高田陸軍病院、国立高田病院を経て、平成12年3月に市へ譲渡されてからは市立病院として現在に至っています。

この間、地域の住民は100年以上にわたりこの病院を受け入れ、ともに歩んできました。現在は、地元町内会のお祭りや防災訓練などに病院職員が参加するなど、地域と病院との間に信頼関係ができており、地域で病院を支えることが地域住民の安心につながっています。

現在、上越地域医療センター病院の改築に向けた検討が進んでいることから、病院周辺15町内会から当地域協議会に要望書が出されました。これを受け、当地域協議会では今年9月、その代表者から、病院の改築について意見をお聞きしました。皆さんからは、病院を現在地に建て直すことを強く要望する声が寄せられました。

上越地域医療センター病院は、高齢者でも杖やシルバーカー（歩行補助用の手押し車）で歩いて通えることから、高田区の多くの方が利用しています。入院する家族の見舞いも歩いて通えることなどから、特に高田区に暮らす高齢者は非常に安心感をもって日々の生活を送ることができています。

市の調べでは、病院の地域別患者実績は高田区の患者が最も多く、外来と入院患者の合計人数は平成25年度からの4年間、常に全体の3割を超えています。このことは、高田区の住民がどれほどこの病院を頼りにし、病院が地域住民にどれほど好影響をもたらしているかの現れと言えます。

高田区では、体が不自由な高齢者はこれから増えることが見込まれ、回復期、慢性期の病院機能やリハビリテーション機能をしっかり持つこの病院は、人口が多い高田区でこそ、より一層大きな役割を果たすものと考えます。

以前、病院周辺を保健医療福祉ゾーンと位置付ける計画があり、現在は病院周辺に介護保険施設等が設置されているという現状もあります。

これらのことから上越地域医療センター病院は、現在地において改築することが、高田区の住民生活に寄り添うものと考え、提案するものです。